

熱戦!舞台は美郷町 第44回東北総合体育大会

ことしは秋田県が会場となった東北総合体育大会では、8月17日から20日にかけて、バドミントン競技と自転車競技が、9月2日から3日にかけては相撲競技が、それぞれ美郷町を会場に開催されました。大会では美郷町出身選手も活躍。国体出場を目指してハイレベルな競技が繰り広げられました。

また、8月20日にはバドミントン競技にも出場した北都銀行の選手の皆さんにより、町内の小学生と中学生への指導「バドミントンクリニック」が実施されました。

■第44回東北総合体育大会 相撲競技

少年男子 団体 第3位(久米伊織さん、井畑良基さん)

成年男子 団体 第3位(鈴木涼汰さん)

■第10回東北青年相撲選手権大会※同時開催

団体 優勝(庄司光希さん、高橋歩睦さん、照井達也さん)

個人 第3位 庄司光希さん

■第19回東北相撲体重別選手権大会※同時開催

重量級(120kg以上級) 第3位 鈴木涼汰さん



■バドミントンクリニックの様子



全県かけ唄大会&じんじゃず

六郷の熊野神社境内を会場に8月22日は「じんじゃず」、23日には「全県かけ唄大会」がそれぞれ開催されました。

22日のじんじゃずでは、町内外から集まった演奏者の皆さんが素晴らしい演奏を披露、訪れた観客たちは神社という普段とは違う幽玄な雰囲気の中で音楽を楽しみました。23日に行われた全県かけ唄大会はことしで65回目となります。9名の唄い手が参加し、掛け合いの妙を披露しました。白熱の戦いが深夜まで続き、見事、畠山正さん(関田)が最優秀賞を受賞しました。



歴史感じて 後三年秋の陣in金澤

9月10日、道の駅雁の里せんなんを会場に、後三年秋の陣in金澤が開催されました。

当日は、清原紅蓮隊による演武、菖蒲太鼓保存会や美郷ジャズオーケストラによる演奏などをはじめ、早かご競争といった合戦にちなんだイベントで会場が盛り上がりました。



いきいきスポーツ健康のまち 美郷町チャレンジ健康マラソン

9月9日、美郷町自転車競技場をメイン会場として、チャレンジ健康マラソンが開催されました。

レースではなく健康づくりを目的としたこのマラソンは、ウォーク&ランコース(約2.5km)とチャレンジコース(約5km)の2つのコースが用意されています。

当日は小さな子どもから大人まで、97名の参加者が集まり、各々のペースで全員が完走し、気持ちのいい汗を流していました。



東北総合体育大会 相撲競技 開会式にてあいさつをする松田町長

コラム 風

「異文化に触れる」仮想旅行

美郷町長 松田知己

小学生の頃の私の夢は、報道機関の海外特派員になることでした。なぜ海外特派員なのか記憶が定かではありませんが、たぶんテレビで見ると特派員が格好良かった、あるいは海外そのものに憧れがあったからだろうと思います。しかし成長に従い、希望職種は変遷。高校では研究者、そして公務員を経て、現在の職に至っております。

改めて自分の来し方を振り返ってみると、海外への意識はずっと心のどこかにあったように思います。「三つ子の魂百まで」よろしく「十二の魂百まで」です。ちなみに大学時代の最大の後悔は海外を旅しなかったこと。その後悔もあって県庁時代には、海外研修のチャンスに自ら応募。未だ見ぬ世界を見てみたい、そしてその刺激で少しでも自分を成長させたいという思いだったと記憶しています。

こうした海外への意識もあって、美郷町ではかつて中学生を対象とした海外研修を実施していました。小さい頃に経験する異文化は成長に大きな意味を持つとの信念でしたが、国際テロの続発などで残念ながら事業を中止しました。しかし私は現在でも、異文化という非日常に身を置くことの意味、そこから得られる刺激の意義については、

確実に深いものがあると考えているところです。

そうした考えを抱きながら、この度美郷町では、町内に居ながら「異文化に触れる」機会を企画しました。東京オリンピック2020で事前合宿が決まったタイ王国の文化展です。多くのおみなさん、とりわけ子供たちには、是非とも知的好奇心をもって訪れてもらい、タイ王国の文化に触れていただきたいと思っています。意外な発見もあるものと思います。その上で、この機会を通じて改めてタイ王国に理解を深めるとともに、今後接する機会が増えるタイ王国の方々との交流に活かしていただくよう、心より期待しているところです。

今回の企画、まずはどんなもんか見タイ、だから学友館に行きタイ、そしてタイ文化を分かりタイ、となりますように…(笑)